福祉たすけあい基金 BOOK 増刊

子どもの貧困に立ち向かう
市民活動応援助成
（第 2 期・2023 年度）
地域のまなび場支援

助成団体紹介

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金
Kanagawa Lively Citizens Fund

目 次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金とは…… 3
子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成について …… 4
選考講評 …… 5
＜助成団体紹介＞
NPO 法人　スマイルパートナーズ …… 6
特別非営利活動法人　こどもの夢サポートセンター …… 6
特定非営利活動法人　地域で子どもを育む会 …… 7
特定非営利活動法人　デジタルコンテンツ研究会 …… 7
みんなの居場所　結 …… 8
たすき塾 …… 8
アクティブ・ママ …… 9
特定非営利活動法人　育ち合い広場・てとてとて …… 9
NPO 法人　てらこや食堂ラッキーズ …… 10
ひばり野のなかま達 …… 10
特定非営利活動法人　地域福祉を考える会 …… 11
NPO 法人　自由創造ラボたんぽぽ …… 11

「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」へのご協力をお願いいたします。

●基金の目的

かつては総中流社会と云われた日本社会ですが、この 20 年余りの間に、格差・貧困が加速度的に広がっています。子どもを取り巻く状況が悪化し、「貧困の連鎖」が起こっています。

この基金では、市民が連帯し問題解決をめざす活動～子ども食堂（コミュニティ食堂）・学習支援活動・フードバンク活動など～を応援します。

●基金のしくみ

・１口１万円から寄付を募集します。
・寄付者は特別賛助会員として、この基金の設置者として名を記します（任意）
・基金への寄付が１００万円を超えた段階で、公募・選考・助成を行います。

【お申込み方法】

◆　ゆうちょ銀行から振込
　記号番号　00220-6-102971　　ザイ）カナガワイキイキシミンキキン

◆　ゆうちょ銀行以外から振り込み
　ゆうちょ銀行　〇二九店（ゼロニキュウ店）　当座 0102971　ザイ）カナガワイキイキシミンキキン

公益財団法人　かながわ生き活き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合（1971 年創立）は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関は無いため、自前の財源による市民バンク（「女性・市民コミュニティバンク」の前身）をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいにかかわる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

◆ ミッション

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。現在 3 つの助成プログラムを行っています。

福祉たすけあい基金（2015 年度から通常型助成とスタート助成を実施）は、1 万人を超える意思ある生活クラブ組合員の月 100 円寄付を基本財源とした助成プログラムです。「事業指定助成プログラム」「オーダーメイド助成プログラム」にも取り組みます。

助成事業を中心に、研修セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助

日本における子どもの貧困率は 13.5%（2019 年）。7 人に 1 人、約 280 万人の子どもたちが貧困状態にあるといわれています。その中でもひとり親家庭に至っては 2 人に 1 人の子どもが貧困状態といわれており、OECD 加盟国の中でも最悪の水準です。

子どもの貧困対策としては食支援が代表的ですが、貧困によって起こる「教育格差」も注視すべき課題です。子ども時代の経済格差が教育格差を生み、貧困を背景とした親から子への「負の社会的相続」が子どもの将来自立する力を奪う可能性もあります。

2014 年に「子供の貧困対策の推進に関する法律」が成立して以来、政府は「教育の支援」「保護者の就労の支援」「生活の支援」「経済的な支援」の 4 つの柱の 1 つとして「教育支援」を掲げていますが、その内容は幼児教育の無償化、義務教育の就学援助、公立高校の無償化・私立高校の授業料減免などが中心であり、実際の子どもの学習支援活動は NPO 法人や市民活動団体が担っているのが現状です。

「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」では、格差・貧困により子どもたちの学びの場や機会が制限されることのないように、無料塾、フリースクール、居場所などの学習支援活動を行う団体を対象に助成を実施します。

対象となる団体、事業

＜対象となる団体＞

神奈川県内に事務所を置く非営利団体（法人格の有無は問いません）。

＜対象となる事業・活動＞

県内の無料塾、フリースクール、などの学習支援活動を行う団体を支援します

助成額

① 助成総額予算　120 万円　② 助成上限額　10 万円（1 団体）

② 事業対象期間　　2023 年 10 月から 2024 年 3 月に実施する事業・活動

助成の原資について

賛同者の皆様からの寄付（子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金）

選考委員（敬称略）

委員長　手塚　明美　一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長

副委員長　戸田美智子　生活クラブ生活協同組合副理事長

田中　夏子　イタリア協同組合研究者/ 農業者

川岸　卓哉　弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤　ゆみこ　（特非）ピッピ・親子サポートネット　理事長

高村　文子　横浜ＹＭＣＡ　国際・地域事業担当チーフディレクター

伊藤　保子　NPO 法人さくらんぼ理事

斎藤　輝美　横浜　生活クラブ生協理事

子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金

選考講評

選考委員長　手塚　明美
（一社）ソーシャルコーディネートかながわ理事長
（公財）かながわ生き活き市民基金理事

今の社会に広がりつつある格差や貧困は子どもの生活環境に大きく影響し、コロナ禍を経て、ますます悪化しつつあります。当財団では、市民が連帯し問題解決を目指す活動に向け、「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」として寄付を募り、寄付が１００万円を超えた段階で、公募・選考・助成を行う仕組みを創設しました。2022 年度に第 1 回を実施し、皆様のご協力で 2023 年度も実施することができました。

本年度は、予想を超える 15 団体の応募があり、選考は難航しました。大変残念ながら、全ての申請団体の皆様に助成金をお渡しすることができませんでした。しかしながら、子どもたちの学びの場や機会が制限されることに対する市民の関心の高さと、克服するための知恵や工夫を随所に見ることができ、いずれの活動も大変意義のある活動と思われました。

本助成は、課題に気付いた市民が持ち寄った財源で、解決策を実行している市民を支え、実行している市民は課題の渦中に居る子ども達を支えます。ご協力には様々なカタチがあります。今回の助成を支えていただいた多くの関係者の方に深くお礼を申し上げますと共に、引き続きのご協力をお願いいたします。

NPO法人スマイルパートナーズ（横須賀市）
代表　久保田　康雄　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動

無料学習支援（ボランティア謝金）

★団体紹介

設立年月　2005年8月

団体の目的・活動内容

無料学習支援
高齢者デイサービス施設「スマイル池上」を無償提供を受けて、地域で学習塾に通うことができない小中学生を対象に学習支援を行う。講師は地域ボランティアに依頼しており、交通費として1,000円／回を支払う。また生徒にはおやつの提供をしている

団体情報

住所：横須賀市小川町１４番地１
TEL：046-820-1211
Mail：kayama_j@smile-kaigo.co.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

スマイルパートナーズでは、地域の子ども達が親の経済状況により、学習塾に通うことが、難しく学習機会が失われる現実を少しでも改善したいと考え、中学生を対象とした無料学習支援を行っております。当初は、5、6名であった参加者も現在では20名を超える子ども達が毎週通ってきています。会場は地域の高齢者デイサービスセンターの終業後の時間を利用しています。

然しながら対象の生徒が増え、十分な指導を行き渡らせるには、先生の不足が課題となっています。現在は5名の方（元教職員、塾講師経験者等）がボランティアとして学習指導をなさってくれておりますが、交通費の支払いもあり、生徒の十分な学習機会の確保の増加とともに経済的負担も増えてしまう為、安易に先生を募集することはできず、無料塾の安定的な経営が課題となっておりました。

今般助成いただきました資金は、指導者の交通費に充てさせていただきたいと思います。おかげさまで一人でも多くの子ども達に学習機会を提供できること深く感謝致します

（特非）こどもの夢サポートセンター（横須賀市）
理事長　鈴木　明　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動

学習支援活動（教材費、広報費）

★団体紹介

設立年月　2015年5月

団体の目的・活動内容

目的＝格差や子どもの貧困などの社会課題解決に少しでも貢献したいという思いから立ち上げた。
活動内容＝①就学援助家庭の中学3年生に週１～２回無料で英数を教える学習支援②ひきこもりの方の就労準備支援の体験・相談業務・アウトリーチ・居場所③フリースクールこどもの夢④農業活動を通じた地域貢献事業　等。

団体情報

住所：　横須賀市小川町28-1横須賀ハイム205号室
TEL：　046-876-4151
Mail：　info@support-kodomonoyume.com
ＵＲＬ：　http://support-kodomonoyume.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は当NPO（フリースクール）へ助成をいただきありがとうございます。当NPOでは①フリースクールこどもの夢②ひきこもりの方の就労準備支援事業③就学援助家庭の中学3年生に英数を無料で教える学習支援などを行っていますが、一人の人のライフステージで考えると①②③は関連性があります。当NPOの設立趣旨が格差や子どもの貧困などの社会課題に少しでも役立ちたいというものであり、「かながわ生き活き市民基金」様の「ミッション」を拝見し大いに賛同し、感動しております。当NPOの②③は横須賀市の業務委託事業であり補助をいただいておりますが、①フリースクールに関しては全国の多くのフリースクールに共通するように「行政からの経済的支援がない」ことから厳しい運営を余儀なくされています。その中で今回の「地域のまなび場支援」助成をいただくことができ、大変ありがたく思っております。有効に使わせていただきます。

（特非）地域で子どもを育む会　（大和市）
代表　小畑　睦　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
無料学習塾事業（ボランティア交通費、通信費など）
学校の学年別算数プリント
食育・コミュニケーションゲームを行う

★団体紹介
設立年月　2022年4月

団体の目的・活動内容
子どもの健全育成を目的としています。
活動内容としては、小学生を対象に学習補習の寺子屋事業、食育やパントリーも含んだ子ども食堂事業、音楽事業、地域の居場所としての事業を行っております。

団体情報
TEL：　080-5490-9455(小畑)
Mail：　info@acc-k.com
ＵＲＬ：https://acc-k.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
川崎市高津区で民間の寺子屋を始めてから一年が経ちました。コロナ禍の中、子ども達の学習の遅れや居場所としての役割を担う場所として地域の大人たちで急ぎ立ち上げた当会です。寺子屋の立ち上げを急ぎ行い、予算がないうちに走り出した一年前、それから、毎週欠かさず児童たちが参加してくれています。
今回の助成を受けて、この一年で、確実に地域の必要としている子ども達の居場所としての寺子屋が予算不足で閉鎖されることなく、継続していけることに大変感謝をしております。ありがとうございます。地域での認知度も上がりつつある2年目をさらに地域の学生や学校なども巻き込み支えあえる仕組みが出来ればと考えます。

（特非）デジタルコンテンツ研究会　（相模原市）
理事長　近久　誠　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
特別学習支援として、図書館の使い方講習、秋のさつま芋掘り、博物館とプラネタリウム見学、冬にクリスマス会、年末の餅つきなどを行い、体験学習ることで、他の子どもたちとの違和感をなくし、自分に自信をもって生活して行けるように支援する。（教材費、交通費など）

★団体紹介
設立年月　2008年6月10日

団体の目的・活動内容
障害者、ニート、青少年、中高年等の個人及び商店、中小企業等の一般企業、障害者支援。施設、地方公共団体、教育機関等の企業・団体における社会的IT弱者に対して、IT技術の普及、教育及び就労支援に関する事業を行い、現代社会に適応するバランス感覚を持った社会人の育成を目指し、高度情報化社会の発展に寄与することを目的とする。
障害者教育支援事業、子どもの教育支援事業、地域活動支援事業

団体情報
住所：　相模原市中央区矢部4-4-9
TEL：　：042-711-7454
Mail：　m-mail@ss-dc.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
さがみはら みらい塾は不登校や経済的困窮家庭、ひとり親家庭の子どもを対象に無料学習支援を行っています。毎週土曜日10：00～17：30子どもの希望する時間や教科をマンツーマンで、子どもの実情にあわせて講習をしています。特にひとり親家庭の子はヤングケアラーが多く小さい兄弟の面倒を見るため、小学校にろくに行っておらず、中学生でも九九がきちんとできない、漢字が書けないなど問題を抱えた子供が多い。このため独自教材を作り対応しています。合わせて文房具や食料なども地域の商店、フードバンクや社会福祉協議会の支援で今年から始めました。
進学に際しての入学金が用意できるか、どうするかなど解決すべき問題がありますが、ボランティアの先生が多くおり、きめ細かい教育支援ができて大変感謝しています。
小学校の教科書の英語などはタブレットがないと勉強できない状態にあります。今回の助成金は有効活用させていただきます。

マンツーマンによる講習風景

障害者対象　パソコン講習風景

みんなの居場所　結　（横浜市）
代表　清水　真理子　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
「こどもの居場所　みちくさ」
学習支援、習字教室、ボランティアによる食事提供
（交通費、会場費など）

★団体紹介
設立年月　2018年6月

団体の目的・活動内容
「こどもの居場所　みちくさ」様々な生きづらさを抱える子ども達の居場所づくり。毎月、第二月曜日と最終火曜日開催。月曜は学習支援。火曜は習字教室。ゲームや食事の時間も設け、子どもや親がほっとできる居場所を目指す。みんなの居場所「結」で開催。2023年4月より活動開始。

団体情報
住所：　横浜市金沢区洲崎町1-5
TEL：　045-790-1020
Mail：　kyotakuyui@kyotaku-yui.or.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
この度は、活動へのご理解と応援助成をありがとうございます。子ども達への支援をより一層手厚く行っていきたいと考えます。子ども達への支援と一口に言っても、一人一人の背景は実に様々です。帰国生の子。学校に足が向かない子。友達との関わりが苦手な子など・・・・。日々生きづらさを抱えながら頑張る子ども達が、自宅以外でものびのびと好きな事をして過ごせる「居場所作り」をこれからも行っていきたいと思います。「習字」や「勉強」など子ども達が一人で取り組むのが少し難しいチャレンジも、ボランティアの先生やお兄さん・お姉さんと一緒に行う事で楽しみながら集中して行う事ができます。そして、大人も子どもも一緒に、出来立ての温かい「食事」を囲むひと時にほっと和み「明日からもまた頑張ってみようかな。」とエネルギー充電してもらえたらと願っています。

たすき塾　（横須賀市）
塾長　高島　智子　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
近隣の小学5年生から中学3年生までの有料の塾に通っていない生徒への無料学習支援活動
（ボランティア謝金、交通費など）

★団体紹介
設立年月　2011年2月

団体の目的・活動内容
学習塾にも通わず家でも学習がしづらい又は勉強が解らない小中学生を対象に月４回講師５人とボランティアの学生で学習支援を行っています。「解らないが解った！」に変わった時の笑顔は私達スタッフの大きな活力にもなります。中学生が小学生に教えている姿も微笑ましく楽しくもあります。
地域の大人が、地域の子ども達を見守り寄り添いつつ健全な育成を心がけて活動しています。

団体情報
住所：　横須賀市小矢部1―19－15
TEL：　046-837-4345
Mail：　dora3chan10@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
このたびは、私達団体に助成をいただきまことにありがとうございました。
子どもの貧困は私たちが始めた12年前も現在も変わりなく続いています。当団体は12年前は中学生のみでしたが現在は小学5年生から中学3年生まで居場所兼勉強する場所として町内会の理解を得、町内会館で5人の講師とボランティアの学生と子ども達と一緒に学んでいます。
昨今の親の収入＝教育格差という子どもに罪のない格差に対し少しでもお手伝いできることを講師一同目標に日々活動しています。
いただいた助成金はリスニング用CDデッキやボランティアの学生の交通費、講師の謝金、又クリスマス会などの未来を担う子ども達の為に使わせていただきます。本当にありがとうございました。

アクティヴ・ママ（座間市）
代表　若杉　陽子　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
学習支援事業「リラックスタディ＆ひだまりしっぷ」
（物品購入費、通信費）

★団体紹介
設立年月　2000年 5月

団体の目的・活動内容
子ども達たちが地域で元気に育っていくことを目指し、子育てサロン、こども食堂、学習支援などの活動を行っている。

団体情報
住所：　座間市入谷西2－20－15　ひだまりの家
Mail：　active_mama_zama@yahoo.co.jp
ＵＲＬ：https://active-mama-zama.jimdofree.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
この度は助成団体に採択いただきありがとうございました。私たちの教室には外国籍の子、いわゆる学習障がいや発達障がいの子など、さまざまな子どもが通っています。子どもの特性に合わせた学習をすすめていくため、今回の助成金を活用させていただきます。私たちが目指すのは、教室が子どもたちにとって居場所と感じてもらえる場所になることです。学習は一人ひとりのニーズや特性にできるだけ寄り添い、先生と生徒の関係ではなく「近所の大人と子ども」の横並びの関係を大切にします。長期休みには宗教にも配慮した昼食をみんなで食べたり、行事を楽しんだりとお楽しみの要素も含め、学年や国籍を超えた交流、また大人との関係を築いています。何かあれば頼ってもらえる存在になることを目指し、地域の子ども達を見守っていきたいと考えます。本当にありがとうございました。

（特非）育ち合い広場・てとてとて（藤沢市）
代表理事　小川　智子　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
「自由な学び場まなびこ」
既存の学校が合わない子どもたちを対象とした活動
（賃貸料、会場費）

★団体紹介
設立年月　2017 年 7 月（法人 2022 年 5 月）

団体の目的・活動内容
子どもも大人も育ち合おう。地域の中で繋がり学び合える場づくりを目指し、以下の活動を行ってい る。
（1）暮らしの座談会
（2）放課後の居場所活動「手等子屋（てらこや）わはは」
（3）野外探検活動「季節のまちかど探検隊」
（4）フードバンク分配活動「かさ地蔵」
（5）自ら考え、共に育ち学び合う自由な学び場「まなびこ」

団体情報
住所：　藤沢市弥勒寺1-22-21
TEL：　090-2740-8160
Mail：　tetotetote2017@gmail.com
ＵＲＬ：　tetotetote2017.wixsite.com/tetotetote

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
既存の学校が合わないと感じている子ども達の拠点として、藤沢市の「空き家利活用マッチング制度」を活用した民間施設「まちづくりハウスみろくじ」を利用させていただいております。
拠点があることで、子どもたちが毎日使う文具や書籍、作りかけの工作などを保管でき、安定した活動を行うことが出来ています。それにより、子どもたちの安心感にも繋がっています。
2022年4月の開所当初は週2日通う2名からスタートし、1年半が経過した今、ある時は週4日通う入学者が9名になったこともありましたが、年度替わりをきっかけに公立学校へ行ってみると動き出す子も数名おり、まなびこをしばらく休学している子もいます。いつでも行き来できるよう、席を確保し、場を開き続けることが必要です。学ぶ権利がある全ての子どもたちへ教育格差の無いよう、学び集える場を開き続けるためのご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

NPO法人てらこや食堂ラッキーズ （相模原市）
理事代表　関 邦子　　助成金額　100,000円

★助成した事業・活動
学習支援と夕食を提供、季節的なイベント
（ボランティア交通費）

★団体紹介
設立年月　2019年11月（2020年9月　NPO法人）

団体の目的・活動内容
小学生、中学生の子どもを対象に、放課後に宿題の手伝いなどの学習支援を行い、夕食を提供する。また、学校が終わった後で安心していられる「子どもの居場所」として学習支援、食事支援を平日休みなく行う。

団体情報
住所：　相模原市南区相模大野6-11-25
　　報徳二宮神社2階
TEL：　090（3788）0462
Mail：　tskuckys1@gmail.com
ＵＲＬ：　https://terakoya-luckys.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
本団体は以下の事項を心掛けて活動に取り組んでいます。
・子ども達それぞれに応じて、宿題や勉強のほか、トランプや卓球などでボランテイァスタッフが一緒に遊ぶ等、のびのびと過ごせる様にする。
・子ども達それぞれの学習、日常の様子について、活動記録、会議などでスタッフ間の共有化を図り、また、保護者へのアンケートを行いニーズ、状況把握に努める。
・子どもからの話を〝聞く〟ことにも比重をおき、相談事など話しやすい関係作りを心がける。必要性がある場合には行政や学校との連携をはかる。
・温かい手作りの食事を皆で一緒にゆっくりと楽しく食べる時間を大切にする。
・感染予防策の継続を、子ども達、関係者間で認識共有して実施する。

ひばり野のなかま達 （平塚市）
代表　大畑　正子　　助成金額　49,000円

★助成した事業・活動
宿題支援・学習支援（会場費、物品購入費）

★団体紹介
設立年月　2019年4月

団体の目的・活動内容
将来ある子供たちの生活環境を少しでも良くする一助となることが目的。
介護予防、食育も含めて、子ども食堂・学習支援、駄菓子屋、公園などの活動。

団体情報
住所：　平塚市南豊田６－５
TEL：　080-1055-9303
Mail：　masako@hana-kikaku.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
この度は、助成金を有難うございました。市内2か所の子ども食堂と学習支援を通して感じた事は、私達が思い描くより様々な課題があり、どのように対処すればより良い環境を作り出せるのかが毎回の悩みでした。専門職や関係団体に等にも相談を繋げたり、活動を通して繋がることもありました。その中で、少しでも居心地の良い環境を作り出すことにより、安心・安全な場所として子供たちや親御さんに信頼ある場を提供することが一部出来ました。これは、活動の目的の一助になりました。その為に、助成金が会場費になり、環境を作り上げてくれました。
今後も、より良い場の提供を目指して取り組んでいきたいと思います。

（特非）地域福祉を考える会 （伊勢原市）
代表 理事長 萩原 鉄也　　助成金額 35,000円

★助成した事業・活動
学習支援事業（ボランティア交通費、教材費）

★団体紹介
設立年月　1992年4月

団体の目的・活動内容
主に高齢者・障がい者・こどもに目を向け、誰もが優しく支え合う街を目標に、福祉の実践活動と学習活動を行う。

団体情報
住所：　伊勢原市田中256番地の1-301
TEL：　0463-95-6665
FAX：　0463-20-9320
Mail：　office@tiikifukusi.com
ＵＲＬ：　http://tiikifukusi.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
格差社会の中、じわじわと広がる「子どもの貧困」。勉強したくても塾にも通えず、勉強・進学をあきらめる子どもたちが増えています。親ガチャという言葉も流行するほど、子どもたちにとっては深刻な事態です。家庭の貧困が子どもの低学力・低学歴を生み、貧困の連鎖が止まりません。私たちは、そんな状況の子どもたちをいかに少なくするか、未来へつなげるか、を考え、「伊勢原市ひとり親家庭福祉協会」と協力しながら、「子ども食堂」「学習支援」の活動を続けてきました。

毎年、中学3年生を志望の高校に送り出し、今春にはこの地域でも難関といわれる高校進学を果たすなど、地道ですが着々と実績を積み上げています。これからも地域の皆さんとともに、子どもたちの未来を切り開いていきたいと思っています。

NPO法人自由創造ラボたんぽぽ （藤沢市）
代表理事 米澤 美法　　助成金額 80,000円

★助成した事業・活動
フリースペース運営活動（卒業アルバム製作費）

★団体紹介
設立年月　2017年2月（2018年3月法人化）

団体の目的・活動内容
不登校をめぐる諸問題にかかわる人に対して、不登校・ホームスクーリング・ホームエデュケーション等の多様な学びに関する情報提供・収集を行い、周囲への理解・協力への普及啓発、支援活動を通して、自分らしく生きることへの支援事業を行い、子どもが安心して育つ社会づくりに寄与することを目的とする。

活動内容は、不登校の家庭のフリースペース運営、不登校の保護者の相談会カフェたんぽぽ運営、マインクラフトで全国の子どもたちと繋がるマイクラ部運営、地域の団体と協力した「田んぼで遊ぼ」運営、自然体験合宿の開催、随時講演会やセミナー等の開催。

団体情報
住所：　世田谷区深沢7-9-7B（連絡先）
TEL：　080-6722-3155
Mail：　labotanpopo.info@gmail.com
ＵＲＬ：　https://labotanpopo.wixsite.com/tanpopo

助成をうけて・・・の思い・メッセージ
増え続ける不登校。にもかかわらず、学校が自分の居場所でなくなると、子どもが安心して通える場所はまだまだ足りていません。フリースクールは私立並みにお金がかかるため、積極的に通える子は多くありません。私たちの団体ではそんな問題を解消しようと、誰もが自由に気軽に参加できるフリースペースを作りました。今回、設立当初から通っている多くの子どもたちが中3を迎え、新たなステージに旅立ちます。そんな子どもたちに向けて、弊団体で過ごしたことがかけがえのない思い出として心に残り、自信をもって未来に向かっていけるように、この助成の力をお借りして子どもたちと一緒に卒業記念アルバムなどを作成する予定です。卒業しても、サポーターとして活動を支えてくれるOBOGたちの存在が、フリースペースでのあたたかな心の循環になっていくと確信しています。子どもたちの温かな未来への記憶につながる助成に、心から感謝いたします。

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金
Kanagawa Lively Citizens Fund

発行：公益財団法人 かながわ生き活き市民基金
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6Ｆ
Tel：045-620-9044　　Fax：045-620-9045
Mail：info@lively-citizens-fund.org
URL：　http://www.lively-fund.sakura.ne.jp
Facebook：http://www.facebook.com/livelycitizensfund
発行日：2023 年 12 月 1 日